



党機関紙

# 「京都党」

第20号

トピックス 1面 ……追悼……京都党最高顧問 堀場雅夫

2面 ……活動報告①～地域政党サミット～

3面 ……活動報告②～四条通り歩道拡幅事業について～

4面 ……四条通り歩道拡幅事業・『第5回党大会』が開催されました

## 追悼… 堀場雅夫さんとの思い出



### 堀場雅夫最高顧問ご訃報を受けて

平成27年7月14日、堀場雅夫本党最高顧問(満90歳)が肝細胞癌のためご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

堀場最高顧問は、京都党の誕生の生みの親であり、創業ならぬ創業者のお一人として長く京都党の発展に多大なるご尽力を頂きました。

そもそも、我々の理念の根底に流れる「地域主権」という言葉を、遡ること三十数年前に生み出されたのも堀場雅夫さんでした。地方が自立できる地域主権を実現するべく奔走され、最後、地域政党こそ地方を救える唯一の手段だと、結党に立ち上がってくださいました。

結党記者会見では先頭に立ってマイクをお持ちになり、選挙という選挙の演説会に無理を押しでご登壇されました。補欠選挙では自ら百枚以上にのぼる選挙はがきに手書きで自署され、一緒に本を書き、党最高顧問として党を支え、自ら応援団(党後援会)名誉会長として応援の旗手もお勤め頂きました。

本年5月、党のメンバー勢ぞろいで選挙のお礼に伺った際、我々のしょぼくれた顔を見て車いすから、「今回の選挙で心残りだったのは、みんなの応援に行けなかったことや。医者にも何度も頼んだんやけど、行ったらあかんと言われて。申し訳なかった。せやけど、よう勝った。企業でゆうたら125%UPや。(4議席から5議席に増えたことに触れて)とりあえず、大慰労会やろっ。盛大にやるで。」と仰って頂きました。

堀場さんならではの励みだったのだと思います。ご自身こそ大変な病魔と最後の闘いをなさっていた最中だったのではと思います。

京都から地域政党を全国に発信する。

故人の夢に思いを馳せつつ、残された我々はそれを引き継ぎ、前進させて参ります。

本当にありがとうございました。

さようなら。堀場雅夫さん。

京都党代表 村山祥栄

# 活動報告①～地域政党サミット～

2015年8月23日(日)、「第一回地域政党サミット(地域政党連絡協議会)」を京都市内で開催しました。政党関係者ら約30人が参加し、北川正恭氏らによる講演が行われました。

各地の地域政党で組織する「地域政党サミット(地域政党連絡協議会)」の研修会が23日、京都市内であり、政党関係者ら約30人が参加した。元三重県知事で早稲田大マニフェスト研究所顧問の北川正恭さん(70)が地方分権の現状について講演し「国の分権改革を待っていても始まらない。みなさんで地方の住民自治を実現してほしい」と呼び掛けました。

地域政党サミットは今年3月、全国の地域政党の連携を深めることを目的に地域政党京都党など6団体で結成され今回が初めての研修会となります。



早稲田大学名誉教授 北川正恭先生

講演では、1970年代に「地方の時代」を主張し、国に先駆けて情報公開条例を制定するなど中央集権体制に一石を投じた元神奈川知事の故長洲一二氏を紹介しながら、地方分権の経緯を説明。成立から20年がたった地方分権推進法が形骸化しないためにも「地方の問題に目を向け、本気で行動しなければ分権は進まない。徹底的に議論して実質的な改革を進めてほしい」と話されました。



神戸志民党 党主 榎野 孝人氏

## 行政プロモーション～おいしい！広島県&もうひとつの京都～

神戸志民党 榎野孝人氏は観光キャンペーン「おいしい！広島県」のHPによるパブリシティ効果の高さを利用して地元製品のPRを展開させた広島県や、観光王者である京都のリピーター力を保つことを狙いとして生み出された音楽軸での観光キャンペーンの紹介を通して、『伝える広報から伝わる広報へ』をキーワードに、戦略的広報の3つのコミュニケーションパターンとそれらを推進するための重要なポイントを5つ挙げて説明されました。

## なぜ地域政党なのか？なぜ地方分権なのか？

地方行政のあり方について、京都党代表村山祥栄は地方分権の背景にある3つの要素を挙げて地域政党の必要性を説き、果たして地方分権は進んでいるのか？という問題に対して否とし、これを進めるための土台としての地域政党の役割を、

世界的に見られる地方自立型政党を挙げながら語りました。



京都党代表 村山祥栄



今後ますますの地域政党の拡大と発展に向けて、より一層の努力と地道な活動が期待されます。詳しい活動報告等は地域政党サミットのHPで、『地域政党サミット』で検索してみてください！

# 活動報告②～四条通り歩道拡幅事業について～

## 四条通歩道拡幅事業に伴うアンケート調査について



まず始めに四条通歩道拡幅事業に伴うアンケート調査にご協力いただきましたこと心より御礼を申し上げます。四条通りにおける街頭アンケートで1075件、webにおけるアンケートにおいても660件を超えるご回答を頂いたことは、市民の皆様の関心が非常に高いことの表れであると感じております。

今回は、四条通りへの日常的なアクセス方法や新たな歩行空間の印象、並びに今回の拡幅工事全体の印象など、複数の項目にわたって伺いました。歩行者の方、車を運転する方、バスを利用する方、いろいろな目線でのご意見を伺う中で、おぼろげに捉えていた民意をより鮮明に捉える機会となりました。アンケートの結果については、京都党市会議員団ホームページにて結果を発表いたしましたのでご覧いただければ幸いです。

また、10月2日に行われました9月議会代表質問においても、現状での問題点の解決、今後の対応について行いました。詳細につきましては後日ホームページに掲載いたしますのでお待ちください。今後も市民のためのまちづくりのため、問題解決に向け全力で取り組む所存です。

京都党市会議員団 団長 江村理紗



四条通りでのアンケート調査の様子



危険な状態の四条通りの様子

### ＜京都党の考え方＞

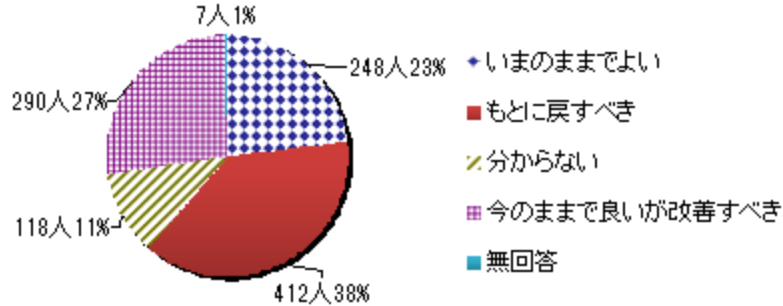
この結果を受けて見えてくることは、“賑わいのあるまち、歩いて楽しい街”というスローガンは今後の京都市の目指す方向性として既に広く市民に受け止められているものの、シンボルプロジェクトである四条通歩道拡幅事業においては、現在の公共インフラの整備状況ではスムーズにアクセス方法をシフトできないために、日常生活に支障をきたし不満につながっているのではないのでしょうか。「元に戻してほしい」と望む方においても、「ここまで工事をしてしまったものは仕方ない」、「せめて現状課題への改善を検討して欲しい」と願う声が少なくありません。そもそも、拡幅工事によってバス事業における停留所への補導員配置や路線変更があること自体支障をきたしていると言わざるを得ません。そこで、京都党としては、現在本市から提案されている是正策以上に、抜本的な改善策を打ち市民の違和感を払拭する必要があると考えます。



## 四条通り歩道拡幅事業についてのアンケート調査結果一部抜粋

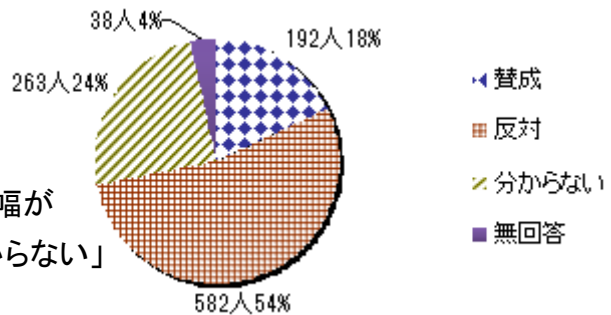
### Q. 四条通り歩道拡幅工事についてどう思われますか？

- 「いまのままでよい」は23%に留まり、満足していないが元に戻すお金がもったいないとの意見が多く見られた。
- 「もとに戻すべき」と「今のままで良いが改善すべき」で全体の65%を占める結果となった。



### Q. 東大路通り歩道拡幅工事についてどう思われますか？

- 街頭でも「反対」の意見が過半数に上る
- 「賛成」より「分からない」との意見が多く、肯定的見解は非常に低い
- 東大路通の街頭区である東山区では歩道幅が狭いという課題を抱えていることから、「分からない」との回答が目立った。



※この他の質問と結果や詳しい分析など、京都党議員団のホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。

## 『第5回党大会』が開催されました！

平成27年8月21日(金)地域政党京都党第5回党大会が行われました。会の冒頭に故堀場雅夫最高顧問の冥福を祈り黙とうをささげ第5回党大会は開会されました。江村理紗幹事長より4月の統一地方選挙を中心に一年間の活動報告、会計報告があり全会一致で承認されました。また村山祥栄代表から、4月の統一地方選挙の厳しい結果の反省をふまえ、今後の京都の町づくり、これからの京都党の在り方など新たな決意で臨んでいく考えを述べられました。



各議員の日々の活動や動画などをたくさん発信しておりますので、ぜひアクセスしてみてください！！

地域政党 京都党

〒606-0813京都市左京区下鴨貴船町46

TEL 075-712-9977 FAX 075-712-9963 MAIL [jimu@kyoto-party.com](mailto:jimu@kyoto-party.com)

地域政党京都党ホームページ<http://www.kyoto-party.com/>

京都党議員団ホームページ<http://www.kyoto-to.com/>